



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月30日

上場会社名 新光商事株式会社

上場取引所 東

コード番号 8141 URL <http://www.shinko-si.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 達哉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 正木 輝

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 03-6361-8111

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

平成25年11月25日

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	69,373	△19.0	2,037	△21.2	2,017	△20.8	1,257	△20.3
25年3月期第2四半期	85,692	43.1	2,586	139.1	2,547	120.7	1,576	137.6

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,988百万円 (81.0%) 25年3月期第2四半期 1,099百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	52.99	—
25年3月期第2四半期	64.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	80,753	52,026	63.9	2,173.98
25年3月期	79,752	50,312	62.5	2,102.52

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 51,568百万円 25年3月期 49,874百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年3月期	—	15.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	134,000	△13.1	3,200	△19.1	3,200	△25.0	2,100	△9.2	88.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	24,855,283 株	25年3月期	24,855,283 株
26年3月期2Q	1,134,394 株	25年3月期	1,134,185 株
26年3月期2Q	23,721,025 株	25年3月期2Q	24,512,630 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府および日銀による大規模な金融緩和策により、円安・株高傾向が続き、実体経済への影響は限定的と見られるものの、おおむね回復傾向となりました。

一方、世界経済を見ると、米国は金融緩和政策による穏やかな景気回復基調と財政危機再燃への懸念は弱まりが見られ、欧州は経済の景況感改善の兆しが見られる一方、物価上昇率は未だ低水準であり、当面は緩和的な金融政策は維持される見通しとなりました。中国をはじめとする新興国の成長鈍化や中東諸国の不安定な政治情勢が影響し、不透明な状態で推移いたしております。

このような経済状況のもと、当社グループ（当社及び連結子会社）は、国内においては、新興国による設備投資の鈍化の影響は若干残るものの、産業機器関連が回復傾向へ、自動車電装関連は北米市場の回復により順調に推移いたしました。一方、娯楽機器関連につきましては、娯楽機器業界において環境への取り組みが本格化し、業界全体の販売台数は減少傾向となりました。当社のお客様につきましても前年度に比べ部材リサイクルが加速し、昨年度の好調と比べ売上高は減少致しました。

海外においては、アジアでは、ローカル企業向けは新興国の成長鈍化の影響を受けたものの、通信関連・OA関連が前年同四半期連結累計期間と比較して堅調に推移いたしました。北米向け自動車電装関連は前年同四半期連結累計期間を上回り、売上高は増加いたしました。また、娯楽機器関連においては国内同様に、減少いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高 693億73百万円（前年同四半期比19.0%減）、営業利益 20億37百万円（同21.2%減）、経常利益 20億17百万円（同20.8%減）、四半期純利益 12億57百万円（同20.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

電子部品事業

電子部品事業におきましては、売上高は551億27百万円（前年同四半期比4.8%減）となりました。

① 集積回路

北米向け自動車電装関連は好調に推移したものの、民生機器関連の不振その他も有り伸び悩みました。

以上の結果、集積回路の売上高は223億13百万円（前年同四半期比6.7%減）となりました。

② 半導体素子

OA関連および自動車電装関連が順調に推移いたしました。

以上の結果、半導体素子の売上高は88億45百万円（前年同四半期比17.1%増）となりました。

③ 回路部品

国内においては、娯楽機器関連において、部材リサイクルが加速し、昨年度の好調に比べ、減少いたしました。

以上の結果、回路部品の売上高は61億23百万円（前年同四半期比12.9%減）となりました。

④ LCD等

国内においては、娯楽機器関連において、部材リサイクルが加速し、昨年度の好調に比べ、減少いたしました。

以上の結果、LCD等の売上高は19億65百万円（前年同四半期比62.5%減）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、従来の「電子管」から「LCD等」へ、名称を変更しております。この名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

⑤ その他電子部品

産業関連およびOA関連において、前年より好調に推移いたしました。

以上の結果、その他電子部品の売上高は158億80百万円（前年同四半期比12.0%増）となりました。

アッセンブリ事業

アッセンブリ製品

国内においては、娯楽機器関連において、部材リサイクルが加速し、昨年度の好調に比べ、減少いたしました。

また、海外においても、上記理由により娯楽機器関連向け売上高は減少いたしました。

以上の結果、アッセンブリ製品の売上高は122億75百万円（前年同四半期比52.9%減）となりました。

その他の事業

電子機器及びマイクロコンピュータのソフトウェア受託開発

国内において、マイクロコンピュータのソフトウェア受託開発が減少したものの、中国向けの充放電装置の売上が順調に推移いたしました。

以上の結果、電子機器及びマイクロコンピュータのソフトウェア受託開発の売上高は19億70百万円（前年同四半期比13.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は736億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億16百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が22億25百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が19億33百万円、商品及び製品が5億23百万円、未収入金が3億21百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は70億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億84百万円増加いたしました。これは主に無形固定資産が35百万円減少したものの、投資有価証券が4億63百万円、投資その他の資産のその他が70百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、807億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億1百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は239億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億45百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が3億89百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が8億25百万円、流動負債のその他が5億55百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は47億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億33百万円増加いたしました。これは主に繰延税金負債が2億15百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、287億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億11百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は520億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億13百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が9億81百万円、その他有価証券評価差額金が3億26百万円、為替換算調整勘定が3億86百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は63.9%（前連結会計年度末は62.5%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益が20億24百万円（前年同四半期比17.4%減）となり、短期借入金の実行等があったものの、売上債権の増加、たな卸資産の増加、仕入債務の減少、短期借入金の約定弁済等があったことにより、前連結会計年度末に比べ23億97百万円減少いたしました。そこに新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額1億12百万円を反映し、当第2四半期連結会計期間末においては197億74百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は21億36百万円（前年同四半期比226.1%増）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益20億24百万円の収入等があったものの、売上債権の増加13億88百万円、たな卸資産の増加3億16百万円、仕入債務の減少13億23百万円、法人税等の支払額6億38百万円の支出等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は3億90百万円（前年同四半期比791.8%増）となりました。これは主に定期預金の払戻による2億93百万円の収入等があったものの、定期預金の預入による3億42百万円、関係会社出資金の取得1億66百万円、無形固定資産の取得40百万円の支出等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は14百万円（前年同四半期比96.1%減）となりました。これは主に短期借入金の実行14億22百万円の収入等があったものの、短期借入金の約定弁済10億80百万円、配当金の支払3億56百万円の支出等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、2020年の東京オリンピック開催も決定し、先行きについても景気の回復基調が見られる一方で、消費税率の引き上げや電機産業の業績回復の見込みに不透明感があり、足元の受注回復に確かな足取りがみられない環境にあります。一方、娯楽機器の見通しについても昨年が大変好調であったことに比べ、娯楽機器業界における環境への取り組みが本格化することにより、製品の構造変化に伴う総体金額の減少が予想されますが、OA機器関連及び自動車電装関連が依然好調に推移しており、下記の通り、平成26年3月期の通期連結業績予想を修正致しました。

<平成26年3月期 通期連結業績予想>

売上高	134,000百万円
営業利益	3,200百万円
経常利益	3,200百万円
当期純利益	2,100百万円

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結会計期間より、NOVALUX THAILAND CO., LTD. は、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,341	20,116
受取手形及び売掛金	32,309	34,243
商品及び製品	12,004	12,527
仕掛品	3	69
繰延税金資産	305	305
未収入金	5,977	6,299
その他	253	147
貸倒引当金	△12	△9
流動資産合計	73,183	73,699
固定資産		
有形固定資産	1,321	1,308
無形固定資産	154	119
投資その他の資産		
投資有価証券	2,565	3,028
繰延税金資産	26	26
その他	2,509	2,580
貸倒引当金	△8	△9
投資その他の資産合計	5,092	5,625
固定資産合計	6,569	7,054
資産合計	79,752	80,753
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,882	19,056
短期借入金	1,396	1,786
未払法人税等	639	718
役員賞与引当金	51	19
その他	2,964	2,408
流動負債合計	24,934	23,989
固定負債		
長期借入金	3,000	3,000
再評価に係る繰延税金負債	153	153
繰延税金負債	163	379
退職給付引当金	966	994
資産除去債務	4	4
その他	217	206
固定負債合計	4,504	4,738
負債合計	29,439	28,727

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,501	9,501
資本剰余金	9,600	9,600
利益剰余金	32,306	33,287
自己株式	△958	△958
株主資本合計	50,450	51,431
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	141	468
土地再評価差額金	215	215
為替換算調整勘定	△932	△546
その他の包括利益累計額合計	△576	136
少数株主持分	438	457
純資産合計	50,312	52,026
負債純資産合計	79,752	80,753

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	85,692	69,373
売上原価	79,200	63,596
売上総利益	6,491	5,776
販売費及び一般管理費	3,905	3,739
営業利益	2,586	2,037
営業外収益		
受取利息	12	20
受取配当金	20	28
仕入割引	34	14
雑収入	10	11
営業外収益合計	78	74
営業外費用		
支払利息	27	27
為替差損	78	57
雑支出	10	8
営業外費用合計	116	94
経常利益	2,547	2,017
特別利益		
投資有価証券売却益	9	—
受取和解金	—	16
その他	2	0
特別利益合計	11	16
特別損失		
固定資産除売却損	6	3
投資有価証券評価損	70	—
製品補償損失	—	6
その他	31	0
特別損失合計	109	10
税金等調整前四半期純利益	2,449	2,024
法人税等	859	749
少数株主損益調整前四半期純利益	1,590	1,274
少数株主利益	14	17
四半期純利益	1,576	1,257

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,590	1,274
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△154	326
繰延ヘッジ損益	2	—
為替換算調整勘定	△339	387
その他の包括利益合計	△491	714
四半期包括利益	1,099	1,988
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,086	1,970
少数株主に係る四半期包括利益	12	18

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,449	2,024
減価償却費	118	70
減損損失	7	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△102	28
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△3	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△47	△2
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	18	△32
受取利息及び受取配当金	△33	△48
支払利息	27	27
有形固定資産除売却損益(△は益)	4	3
投資有価証券売却損益(△は益)	3	—
投資有価証券評価損益(△は益)	70	—
売上債権の増減額(△は増加)	△11,265	△1,388
未収入金の増減額(△は増加)	△5	△237
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,011	△316
仕入債務の増減額(△は減少)	4,805	△1,323
未払又は未取消費税等の増減額	299	△70
その他の資産・負債の増減額	806	△246
その他	7	△8
小計	172	△1,520
利息及び配当金の受取額	32	49
利息の支払額	△27	△27
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△833	△638
営業活動によるキャッシュ・フロー	△655	△2,136
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△342
定期預金の払戻による収入	—	293
投資有価証券の取得による支出	△106	△5
投資有価証券の売却による収入	141	—
関係会社出資金の取得による支出	—	△166
有形固定資産の取得による支出	△66	△9
有形固定資産の売却による収入	16	0
無形固定資産の取得による支出	△31	△40
貸付けによる支出	—	△0
貸付金の回収による収入	0	0
その他の支出	△114	△134
その他の収入	116	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43	△390

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,160	1,422
短期借入金の返済による支出	△1,160	△1,080
リース債務の返済による支出	△0	△0
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△367	△356
財務活動によるキャッシュ・フロー	△369	△14
現金及び現金同等物に係る換算差額	△134	144
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,202	△2,397
現金及び現金同等物の期首残高	17,710	22,059
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	112
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,507	19,774

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子部品事業	アッセンブリ 事業	その他の事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	57,913	26,046	1,732	85,692	—	85,692
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	57,913	26,046	1,732	85,692	—	85,692
セグメント利益	2,623	842	79	3,546	△960	2,586

(注) 1. セグメント利益の調整額△960百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△960百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門経費及び共通経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子部品事業	アッセンブリ 事業	その他の事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	55,127	12,275	1,970	69,373	—	69,373
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	55,127	12,275	1,970	69,373	—	69,373
セグメント利益	2,248	242	318	2,809	△772	2,037

(注) 1. セグメント利益の調整額△772百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△772百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門経費及び共通経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。